

周波数オークション懇談会 公開ヒアリング資料

2011.6.17

主婦連合会 木村たま代

利用者が電波の利用に求めること

電波は公共性が高く、社会基盤として欠かせないものである

- 安定した利用状態
- 提供される内容が適切
- 適正な利用料金、機器
- 利用しやすさ(使い勝手、契約など)
- 地域性(遠隔地・地域独自)
- 有効利用

周波数オークションにより 利用者に懸念されること

オークションにより安定したサービスの質が確保されるか

⇒ 入札業者の参加資格

オークション価格高騰の利用者への影響

- ・利用価格や機器価格の高騰
- ・サービスの継続性
- ・サービス品質の低下
- ・地域性: 地域によるサービスの差異
- ・公共性: 緊急時
- ・セキュリティ
- ・オークション代金を国がどのように利用するのか
- ・投機性
- ・業者による電波の買占め
- ・複雑なサービスや契約での消費者トラブル
- ・投資目的での買い取りなどでの金融被害がおこる可能性

周波数オークションの検討にあたって

- オークションの可否は、利用者からの視点を常に入れて、透明性を確保した制度設計を
- 入札金額だけではなく、入札業者の参加資格や事業内容などを倫理委員会の設置などによる検討・監視
- 電波の有効利用には行政の省庁の枠を超えた取り組みを

例)遠隔地の医療利用 など